

国語科学習指導案

やまばと学級 13名 指導者 三井 裕太

1 分科会提案

(1) 「よい学習」

やまばと分科会の目指す「よい学習」とは、児童が生き生きと学ぶ学習である。

(2) 「よい学習」を実現するための手だて

①学びの調整のための見通しと振り返り

児童が学習の見通しをもつために、1時間毎に学習の流れを示したり、単元全体の学習計画を作成し掲示したりする。また、授業の最後には、毎回本時のめあてに対する学習の振り返りを行う。振り返りを行うことで1時間毎に学習内容を整理することができ、次の学習に役立てられる。

実施する予定のビブリオバトル（「ビブリオやまばとル」）は、本の魅力を紹介する取組である。学習意欲を高めることや相手を意識して本を紹介すること、本に対するイメージの向上を目的として行う。本学級の実態に合ったルールの検討や図書室の活用等、指導の工夫を図る。

②机間指導の充実

価値ある対話をより価値のあるものにするために、対話中の指導を充実させる。そのために、指導案に机間指導の目的を明記し、言葉掛けを分科会で検討する。

2 単元名「お気に入りの本をしょうかいしよう」

教材名「お気に入りの本をしょうかいしよう」（光村図書 国語2年上）

3 教材観

読書は、その人の想像力を広げ、生活を楽しくしたり、新しい知識や語彙を獲得させたりする良さがある。また、読書によって仮想体験をしたり、悩みを解消したりすることもできる、しかし、それは読書量や読む本の種類などに大きく左右される。本単元「本は友だち」は、自分の読書生活を見つめ、多様な読書活動を体験することで、読書に親しむ態度を養うための学習である。本単元では、自分がおもしろいと思う本を友達に紹介する活動を通して、改めて本の良さに気付いたり、友達の紹介する本に興味をもって、自分の読書の幅を広げたりすることを大切にしたい。

4 単元の目標・評価規準

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
目標	・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。 (3)エ	・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。C(1)カ	・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	◆本の面白さや楽しさを感じている。 ◆友達の本の紹介を聞いて、身の回りにはいろいろな本があることに気付いている。(3)エ	◆「読むこと」において、文章を読んで内容をつかみ、好きなどころを見付けて、友達に伝えている。C(1)カ	◆本の紹介活動に興味や関心をもち、進んで本を紹介し合おうとしている。

5 児童の実態

日常的に本を読む習慣がなく、進んで読書をする児童が少ない。また、絵本の絵だけを見て読み進める児童や文章を正しく読み取ることが困難な児童、視覚的なハンディキャップがあり、文字を読むこと自体が苦手な児童もいる。4月に行った第1回ビブリオやまぼとルでは、日本昔話をテーマに本選びを行い、ペアやトリオでお気に入りポイントを話し合い、紹介し合った。お気に入りポイントをお気に入りの1ページやお気に入りの1行など、焦点化することで、児童はより具体的に紹介することができた。文章を正しく読み、話の流れをつかむことや、お気に入りの部分を相手に伝えることに課題が残った。

- ・9月現在、平仮名を全て読むことができない、支援があれば、文章を読んだり、聞いたりして、話の流れを理解したりすることができる児童 4名
- ・平仮名、片仮名は読めるが、日常生活で文章を読む機会が少なく、1人で絵本を読み通すことが難しい、読み通しても文章の内容を想像することが難しい、支援があれば話の流れを理解したり、想像したりすることができる児童 4名
- ・日常生活で文章を読む機会があり、1人で絵本を読み通すことができる。また、話の流れを理解したり、想像したりすることができる児童 5名

6 指導計画

次	時	主な学習活動	・指導上の留意点 ◆評価規準 ☆評価方法
第1次	1	① 学習活動を知り、学習の見通しをもつ。 ② これまでに行ったビブリオやまばとルを振り返る。 ③ お気に入りメモの書き方を確かめる。	・教師のお気に入りの本の紹介を聞き、これからの学習への意欲を高めるようにする。(毎時実施する) ・これまでの学習を振り返り、単元を通した学習の見通しをもたせる。 ・紹介するために大切なことを確認する。 ◆メモの書き方を理解し、書くことができる。【思】☆記述
	2	④ 「スイミー」を読んで、本のお気に入りメモを作る。	・題名、著者、登場人物、あらすじなどの内容の大体をつかませ、感想をもたせる。 ◆物語を読んで内容をつかみ、好きなページ、1行を見つけて、お気に入りメモを作っている。【思】☆発言・記述
第2次	3	⑤ 「スイミー」を紹介し合う。	・お気に入りのページ、1行の伝え方を身に付けさせる。 ・同じ話を読んでも、読者によって観点が違うことに気付くようにする。 ◆話型を活用しながら、お気に入りのページ、1行を伝えている。【思】☆発言・観察
	4	⑥ 「うさぎたちのにわ」を読んで、本のお気に入りメモを作る。	・題名、著者、登場人物、あらすじなどの内容の大体をつかませ、感想をもたせる。 ◆物語を読んで内容をつかみ、好きなページ、1行を見つけて、お気に入りメモを作っている。【思】☆発言・記述
	5	⑦ 「うさぎたちのにわ」を紹介し合う。	・お気に入りのページ、1行の伝え方を身に付けさせる。 ・同じ話を読んでも、読者によって観点が違うことに気付くようにする。 ◆ワークシートを活用しながら、お気に入りのページ・1行を伝えている。【思】☆発言
	6	⑧ 「スイミー」と「うさぎたちのにわ」でビブリオやまばとルを行う。	◆ビブリオバトルの流れ、ルールを理解してお気に入りの本を紹介し合い、読書への関心を高めている。【態】☆発言・記述
第3次	7	⑨ 友達に紹介したい本を選ぶ。 テーマ(昔話) ⑩ 選んだ本のお気に入りメモを作る。	・題名、著者、登場人物、あらすじなどの内容の大体をつかませ、感想をもたせる。 ◆相手意識をもって本を選び、内容をつかみ、好きなページ・1行を見つけて、お気に入りメモを作っている。【思】☆発言・記述
	8 (本時)	⑪ 選んだ本のお気に入りメモを作る。 ⑫ ビブリオやまばとルを行い、感想を発表する。	・題名、著者、登場人物、あらすじなどの内容の大体をつかませ、感想をもたせる。 ◆本の紹介を聞いて、質問したり感想を伝えたりしている。【思】☆発言、観察
第4次	9	⑬ 友達に紹介したい本を選ぶ。 (テーマフリー) ⑭ 選んだ本のお気に入りメモを作る。	・題名、著者、登場人物、あらすじなどの内容の大体をつかませ、感想をもたせる。 ◆相手意識をもって本を選び、内容をつかみ、好きなページ・1行を見つけて、お気に入りメモを作っている。【思】☆発言・記述
	10	⑮ ビブリオやまばとルを行い、感想を発表する。	◆友達の本の紹介を聞いて、読書への関心を高めている。【態】☆発言記述

7 本時の学習 (8/10 時間目)

(1) 目標

友達の本の紹介を聞いて、質問したり、感想を伝えたりする。

(2) 展開

	○学習活動 C: 想定される児童の答え	・指導上の留意点 ◆評価規準 ☆評価方法
(5分) 導入	○前時までの学習と単元のゴール、本時の学習のめあてを確認する。	・単元のゴールに向かって本時で何をするのか、単元計画をもとに確認する。
	しつもんやかんそうをつたえよう	
展開 (30分)	<p>○お気に入りメモの作り方を確認する。</p> <p>C: 本の題名と書いた人を伝えることです。 C: 登場人物やお話の流れを伝えることです。 C: 自分のお気に入りポイントを伝えることです。</p> <p>○ペアでお気に入りメモを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で考える。 ・ペアで考える。 <p>○ビブリオやまばとルを行う。</p> <p>ルールの確認をする。</p> <p>C: 持ち物は本だけです。 C: 1人1分です。 C: 紹介、感想、質問の順に取り組めます。</p> <p>①前時に学習したペアで紹介し合う。 ②全体共有 ③お気に入りの観点が異質のペアで紹介し合う。 ④全体共有</p>	<p>・前時までの学習を振り返り、個人でメモを作る活動に取り組みやすくする。</p> <p>・書くことが困難な児童は、発言を聞き取るようにする。</p> <p>・児童の実態に合わせた2種類のワークシートを用意する。</p> <p>・前時までに題名、作者、書ける児童はお気に入りポイントまで書かせておく。</p> <p>・お気に入りポイントまで書いている児童と、書けていない児童を隣同士にする。</p> <p>・早く終わった場合は紹介の練習をさせる。</p> <p>・お気に入りの観点別色付きワッペンを身に付け、観点の違いに気付き、考えを広げたり、深めたりできるようにする。</p> <p>・絵本を示しながら紹介する姿、相手の発言を受けて質問する姿、観点の相違点に着目している姿などの望ましい姿を価値付ける言葉掛けをする。</p> <p>・対話の様子を撮影し、望ましい姿をクラス全体へ紹介する。</p> <p>◆本の紹介を聞いて、質問したり、感想を伝えたりしている。【思】 ☆発言、観察</p>
まとめ (10分)	○投票用紙を使って本時の振り返りをする。 C: 最初は赤しかなかったけれど、○○さんと話して青の気持ちも分かった。もう一度青の気持ちで自分の本を読んでみたい。	<p>・気になる本とその理由について、友達との対話を振り返りながら書いている姿を価値付ける言葉掛けをする。</p> <p>・全員が振り返れるように児童の実態に合わせた投票用紙を渡す。</p>

(3) 具体的な児童の姿と目標の実現を目指すための手だて

十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要すると判断した児童 (C) への具体的な手だて
お気に入りの本の紹介を聞き、感じたことや分かったこと、疑問点を共有したり、一人一人の感じ方の違いに気付いたりしている。	お気に入りの本の紹介を聞き、感じたことや分かったこと、疑問点を共有している。	対話が活発ではないときの机間指導中の言葉掛けを行う。 質問や感想を伝えている姿の映像を見せ、想像できるようにする。

(4) 板書計画

<p>単元学習計画表</p>	<p>電子黒板</p> <p>書画カメラの映像を映す。 視覚認知の個人差に配慮する。</p>
<p>がくしゅうのながれ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてのかくにん ・しょうかいメモづくり ・ビブリオやまばとル ・ふりかえり 	

(5) 机間指導の目的 (◎) と言葉掛け (・)

〈ペアでお気に入りメモを作る〉

- ◎お気に入りポイントを明確にして、紹介できるようにする。
 - ・どのページ、1行がお気に入りですか。
 - ・スイミーやうさぎたちのにわでは、登場人物に注目していましたね。
 - ・ペアの友達はどんな風書いているか、見せてもらいましょう。

〈ビブリオやまばとル〉

- ◎ペア学習の活性化。観点の違いに気づけるようにする。
 - ・赤ワッペンはどのような読み方でしょう。
 - ・登場人物に注目しているのですね。
 - ・自分の本はどうでしょう。

〈投票用紙記入〉

- ◎学習の過程を振り返れるようにする。
 - ・友達の考えを聞いて、気付きましたね。
 - ・自分と友達の考えを比べられていてよいですね。
 - ・自分の考えと友達の考えが同じということに気付きましたね。